

-身近な美術史シリーズ-

# 「絵師から画家へ」

①



②



①:原鵬雲<楠公櫻井驛図>1877年

②:青野桑州<楠公櫻井驛図>1874年

## 3つのテーマでお話します。

### (1) ふたつの「楠公櫻井驛図」

そっくりに描かれた青野桑州と原鵬雲の作品。現在の私たちの感覚だと、盗作や模写以外の何者でもありません。では当時の人たちは、どのように受け止めたのでしょうか。

### (2) 絵を描く職人

近世までは、「絵師」という言葉が使われていました。絵を描く職人のことです。同じ絵描きでも、現在とは社会的な役割も、絵を描く意識もずいぶんと違っていたようです。

### (3) 絵師から画家へ

「芸術としての絵画」「自己表現としての絵画」といった近代的な画家像は、いつの時代に、どのような経緯から生まれたのでしょうか。芸術家としての画家が誕生した背景を探ります。

このセミナーは、当館で開催中の特別展「西洋美術との出会い 徳島の4人 原鵬雲、井上辨次郎、守住貫魚、守住勇魚」に関連した講座です。展覧会場に並ぶのは、日本に近代的な画家像が誕生する前夜の作品。所々に、画家としての意識の芽生えを見つけることができます。展覧会場に並ぶ作品を手がかりに、日本近代美術の出発点についてお話しします。

# 11月4日(月・振休)

時間:午後2時-3時30分まで

場所:徳島県立近代美術館 講座室(3階)

講師:江川 佳秀[学芸調査課長]

料金:無料

申込  
不要

当日は直接会場まで  
お越しください。

●お問い合わせ

〒770-8070

徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園

電話 088-668-1088

FAX 088-668-7198

徳島県立近代美術館